

特徴

- 水処理を中心とした環境課題に対して、企業の技術を組み合わせたトータルソリューションの提案～一衣帯水～
- 地域間のつながりを活かした両国間の産学公連携による環境ビジネス交流の推進
- ジェトロRIT事業、知的クラスター広域化プロジェクト等の国の競争的資金支援事業の活用

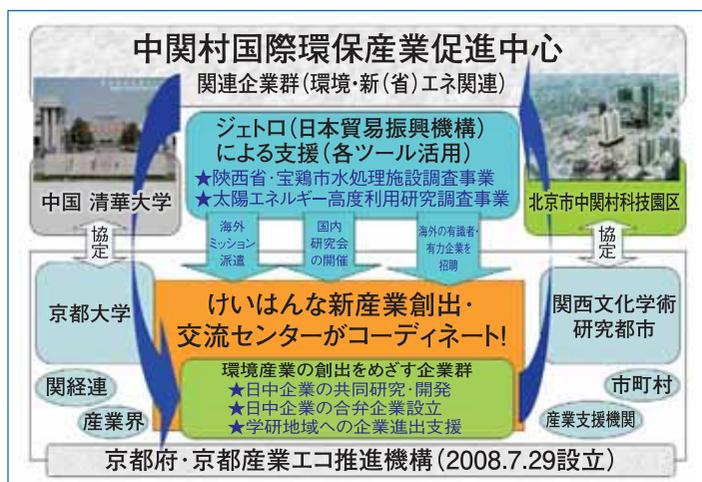
概要

(技術の原理・動作等)

平成19年度、けいはんな学研都市と北京中関村、京都大学と清華大学企業ミッションによる両国間の産学公連携である「日中産学公連携プロジェクト」を組織、環境・省エネ分野でのビジネス創出に向けて産業技術交流をスタート。

今年度には、10月中旬に環境訪中ビジネスミッションを北京市中関村と陝西省へ派遣するとともに、ビジネスミーティングや現地調査を通じて、水処理分野で、京都企業の技術を組み合わせたトータルソリューション提案を行うとともに、両国間の環境ビジネス交流を推進。今後、来年1月における環境訪日ミッションの受入れとけいはんな学研都市での環境ビジネスミーティング開催に向けて具体的な案件の掘り起こしと、ビジネスマッチング等の協議調整を進めていく。

また、こうした日中間での戦略的な取り組みについてはオール京都の環境産業プラットフォームとなる「京都産業エコ推進機構」における国際的連携事業として位置づけ、ジェトロRIT事業や知的クラスター創出事業の広域化プログラムを活用しながら推進していく。



日中産学公連携プロジェクトの概要

導入実績

- 京都府では、昨年10月、京都大学、環境関連京都企業等と合同で訪中。その際、中国清華大学、清華控股、浦華控股、北京市中関村科技園区管理委員会、中関村国際環境産業促進中心を訪問し、環境・省エネ分野の技術に関し、環境ビジネス交流を展開。

- また、昨年12月、中国清華大学を中心とした訪日団が来日。京大桂キャンパス及びけいはんな学研都市で、「日中環境フォーラム2007in京都」及び「日中環境ビジネスミーティング」を開催。

- 特に、昨年12月に開催された「日中環境フォーラム2007in京都」では、清華大学から、大学及び校産企業の資産を管理する清華ホールディングスの董事長の宋軍氏が、「清華大学における産学官連携とサイエンスパークの建設について」と題して、清華大学の産学官連携の歴史・現状を、また、中関村国際環境産業促進中心の総経理の王氏からは、「中国における環境政策の現状と環境ビジネスの市場動向、中関村科技园の概要について」と題して講演が行われ、活発な議論が交わされた。

- また、同時に開催の「日中環境ビジネスミーティング」では総勢80名を超える参加者があり、日本側17社、中国側5社が環境問題、特に、水、ゴミ関連について、活発に意見交換を行い、中国における環境ビジネスの大きな可能性、および日本企業と中国企業とのビジネス交流の意欲やニーズが浮き彫りとなった。

- 本年4月には、昨年度の環境訪中・訪日ミッションの成果を更に具体化させるため、農村部の飲用水等の問題解決に向けて、けいはんな新産業創出・交流センターを中核機関として、日本貿易振興機構(ジェトロ)の平成20年度地域間交流支援事業(RIT事業)や文部科学省の平成20年度知的クラスター創生事業(Ⅱ期)広域化プログラムの競争的資金の採択を受け、けいはんな学研都市に結集する産学公の関係者が一体となり、本事業を進めている。

- 上記2つの国の競争的資金の支援を受け、本年10月に、陝西省及び宝鶏市の工場排水や飲用水の問題を解決するため、けいはんな学研都市関連の環境関連企業の約10社が現地を調査。日中双方の企業や地方政府と協議を行い、日本企業が有する製品や技術について具体的に提案しながら、ビジネスベースの商談を実施。中国側からは日本側に対して、上下水や大気汚染解消に向けた大きな期待が寄せられた。来年1月には、これらの課題解決方策について、けいはんな学研都市で開催予定のビジネスミーティングで、具体的に提案すべく、各日本企業はそのソリューション提案について、検討を進めている。

環境啓発活動

環境ビジネスに関する
ビジネスマッチング

環境技術システム

中国をはじめとした
海外との環境プロジェクト

その他